

## 106章 クライシュ族 (アル・クライシュ)

[106:0] 慈愛深き慈悲深い神の御名において

[106:1] これはクライシュ族によって愛されるべきである。

[106:2] 彼らが冬と夏のほろ馬車を愛するように。

[106:3] 彼らはこの聖堂の主を崇拝するべきである。

[106:4] 彼こそが空腹の後、彼らに食べさせ、恐れの後、彼らに安全をあたえたお方。

この章までの**神**の累積回数＝

2 6 9 4

この章までの**神**がでてくる節の番号の累積合計＝

1 1 8 1 1 7